

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.7.14

1・2年生用 夏号

夏休みは自分の進路を考える良い機会



夏休みが近づいています。1,2年生の皆さんにとって自分のこれからの進路について考えるのはまだ先のことに思われるかもしれませんが、自分が将来つきたい職業が明確に見える人は良いのですが多くの人にとっては、いざ卒業学年を迎えてもなかなか決め難いものです。しかし、進学するのか就職するのか、どんな職業に付いてみたいと考えているか程度は徐々に煮詰めていく必要があるでしょう。ただ頭の中で考えているだけではなかなか煮詰まりません。夏休みにずく出せ修行やアルバイト等具体的職業体験を通じたり、学校見学会に参加する等、具体的に見たり体験することにより徐々に心の整理が出来るものです。その意味でもこの夏休み中は自分のこれからの進路について意識的に考えてみましょう。なお進学、就職に関わらず出来るだけ早くから勉強しておけば良かったと思うときが必ずあります。その時後悔しないためにも勉強はしておきましょう。



進学希望者へ <オープンキャンパスに参加しよう>

夏休み中に多くの大学や専門学校でオープンキャンパスを開いています。それらは、1,2年生も参加できます。無料送迎バスが用意されているところもあります。進路室にもそうした資料がありますし、インターネットを調べたりすることも可能です。進学を考えている人は卒業学年になってからではなく、出来るだけ早い段階からこうしたものに参加し、実際の学校の雰囲気や学科の内容等を具体的に体験し自らの体で感じてくると、より進路に対しての自分の思いが煮詰まってくるでしょう。是非検討してみてください。進学者も夏は読書や基礎学力を付ける勉強をしよう。

就職希望者へ <基礎学力をつけよう>



2年前のリーマンショック以来就職戦線は大変厳しくなっています。しかも今やこの厳しさが回復する見込みが立たず、残念ながら皆さんが卒業する頃に景気が大幅に回復する可能性はほとんどないと断言しても良いでしょう。日本を取り巻く環境には明るい見通しが立たない状況です。

この2年間就職希望者の半数が第一次試験で不合格となっています。しかも卒業時に希望者全員の進路保証が出来にくい状況にもなっています。

企業は厳しい国際競争力にさらされ、海外シフトが加速化し、日本国内での求人がそれだけ少なくなっています。その結果、企業にもゆとりがなくなり「優秀な人材は欲しいが、中途半端なものはいらない」ということになってしまいます。就職試験時に他校の生徒との競争に勝てないものは、就職が出来ません。その結果、卒業時に誰でもが就職出来る時代ではなくなってしまったのです。勉強が嫌いだから就職では困ります。企業に入った方が勉強が必要になります。

1,2年より基礎学力をしっかり付ける努力を重ねていないと困るのは皆さん自身です。また人とのコミュニケーション能力に欠ける人は実際の就職試験でも不利です。皆さんにはまだ時間的余裕があります。卒業時までには是非自分の弱点を克服しよう心がけましょう。